

SDGs (Sustainable Development Goals)

世界を変えるための17の目標



SDGs



尼崎市



「誰一人取り残さない
社会の実現に向けて」

Leave no one behind



Amagasaki SDGs vol.2

尼崎を変えるための16の施策

ひと咲き まち咲き あまがさき

尼崎市におけるSDGsの取組

SDGs

(Sustainable Development Goals)

「誰一人取り残さない社会の実現」を基本理念に、「持続可能な開発目標」として国連で決まった全世界共通の17個の目標



尼崎市

(Amagasaki City)

「ひと咲き まち咲き あまがさき」をまちづくりのキャッチフレーズに、「ありたいまち」の実現に向け、16の施策を展開



SDGsと尼崎市。

誰もが自分らしく暮らせる社会の実現に向けて、スケールは違うものの、その目指すべき方向性は同じ。

SDGsの視点から、総合計画の施策体系や取組について整理しパッケージングした「**尼崎版SDGs**」を作成しました。

17すべてのゴールに包括的に取り組めるのは、自治体の強み！

尼崎市は、総合計画の推進を図ることでSDGsの達成を目指します！

尼崎版SDGsの構成（見方）

	1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	2 ターゲットNo 1・2・3・5
尼崎市の主な取組	3 自治体の、貧困で生活に苦しむ人々 4 保健・福祉の連携強化の取組 暮らしに困っている方々は、保健・福祉分野の保健福祉センターを設置し、保健と福祉の連携 5 就労等による自立への支援 しごと・暮らしサポートセンター尼崎では、課題を抱え、仕事探しや暮らしにお困りの方や	1 SDGsに掲げられる 目標（ゴール） 2 SDGsの17のゴールを構成する169のターゲットのうち、 該当するターゲットNo. ターゲットの詳細はこちら
	5 切れ目のない相談支援体制 尼崎市では、市内南北2か所に保健福祉センターがあります。保健福祉センターには保健と福祉部門的に配置するとともに、同センター内に「しごとサポートセンター尼崎」を設置する中で、総合的に行っていきます。 また、2019（令和元）年10月にあまがさきひびがに「いくしあ（子どもの育ち支援センター）」し、保健・福祉分野との連携のもと、成長段階に切れ目のない相談支援体制を構築しています。	



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

ターゲット№

1・2・3・5

自治体は、貧困で生活に苦しむ人々を支援するための重要な役割を果たします。

尼崎市の主な取組

保健・福祉の連携強化の取組

暮らしに困っている方々は、保健・福祉分野にまたがる複数の課題を抱えていることも多いことから、市内2か所に保健福祉センターを設置し、保健と福祉の連携を強化する中で総合的な支援を行っています。

就労等による自立への支援

しごと・暮らしサポートセンター尼崎では、経済的な問題だけではなく、健康上の問題や社会的な孤立など様々な課題を抱え、仕事探しや暮らしにお困りの方、またはその家族からの相談に応じ、必要な支援を行っています。

トピックス

切れ目のない相談支援体制

尼崎市では、市内南北2か所に保健福祉センターを設置しています。保健福祉センターには保健と福祉部門の職員を一体的に配置するとともに、同センター内に「しごと・暮らしサポートセンター尼崎」を設置する中で、総合的な支援を行っています。

また、2019（令和元）年10月にあまがさき・ひと咲きプラザに「いくしあ（子どもの育ち支援センター）」がオープンし、保健・福祉分野との連携のもと、成長段階に応じた切れ目のない相談支援体制を構築しています。



総合的な相談支援を行う保健福祉センター



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

ターゲット№

8・9・10・11

自治体は、自然資産を活用して農業などの食料生産の支援を行うことができます。また、都市農業を含む食料生産活動を推進し、安全な食料確保に貢献することができます。

尼崎市の主な取組

尼崎市認定農業者制度などによる市内都市農業への支援

本市では認定農業者が着実に増加中。今後は、農業従事者の安定した経営につながるような支援が必要です。

「こども食堂」を通じた地域での居場所づくりへの支援

「こども食堂」が市内で活発に展開中。地域では学校と連携した取組も進み、校内に居場所カフェを設置する学校も！

中学校給食一斉実施に向けた取組

令和4年1月からの一斉実施に向けて取組を進めています。

トピックス

都市農業の役割

本市は市域の約2%が農地で、294戸の農家が農業を営んでいることを知っていますか。都市の農業は消費地に近いため新鮮で安全な農作物を供給でき、さらには農地は多くの役割を果たす、まちになくてはならないものです。



イチゴと露地野菜を栽培する「ささはら菜園」→

一行列のできるコテラマト



学校給食の役割

学校給食は、単に昼食を提供するということだけでなく、発育期の児童にバランスのとれた栄養を摂取させることにより、健康の保持増進、体位の向上を図るとともに、豊かな心をはぐくみ、学校生活に活力を生みだす等、教育上意義深いものがあります。



実はすごかった、「小学校給食」→

3 すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、
福祉を推進する

ターゲット№

16・17・18・19・
20・21・22・24・25

自治体は、国民皆保険制度の運営や都市環境の改善などにより、住民の健康維持・改善を支援することができます。

尼崎市の主な取組

ヘルスアップ尼崎戦略事業に基づく各種健診等の実施

健康で自分らしく暮らしていけるよう特定健診をはじめ、ライフステージに合わせた各種健診、保健指導や健康講座等を実施中

認知症個人賠償責任保険の導入など、高齢者の社会参加や健康づくりの支援

高齢化がさらに進行するなか、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できるよう、高齢者ふれあいサロンやいきいき百歳体操など、地域での取組を支援します。また、医療と介護を一体的に提供する連携体制の構築を進めるとともに、認知症の人やその家族の社会参加を支えるため、認知症カフェへの支援や万一の事故に備えて認知症個人賠償責任保険を導入します。

禁煙支援や受動喫煙防止対策の実施

条例に基づき市内全域での歩きタバコを禁止。受動喫煙の防止だけでなく、禁煙の支援など、吸わない人も吸う人もお互いのキモチを考えたたばこ対策を継続します。

トピックス

あなたも「健診すすめ隊」!?

尼崎市では「健診すすめ隊」のイメージキャラクター「すすめズメ」と仲間達が市内各所で皆さんに健診を呼びかけています。誰かに健診をすすめた時からあなたも「健診すすめ隊」の隊員です。みんなですすめっこして、健診を受けましょう。



健診すすめ通信
リーフレット



「吸わない人も吸う人も
お互いのキモチを覚えて
ピースなまちに」

4 質の高い教育を
みんなに



すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、
生涯学習の機会を促進する

ターゲット№

29・30・31・32・
33・34・35・36

自治体は、教育の中でも特に義務教育等の初等教育において大きな役割を果たすことができます。また、住民の学びを推進するため、学校教育と社会教育の両面における取組を実施できます。

尼崎市の主な取組

あまっ子ステップ・アップ調査事業による学力向上に向けた取組

「あまっ子ステップ・アップ調査事業」を通して得た学力や学習状況に関する各種データ、情報について、「尼崎市学びと育ち研究所」において分析し、個々に応じた対策や非認知能力の育成等につなげます。また、家庭環境や経済的な差が学力の差につながらないよう、誰一人取り残さない学力向上に取り組んでいます。

生涯学習プラザの設置や地域担当職員の配置による生涯、学習!の推進

「生涯、学習!」を掲げ、「あまがさき・ひと咲きプラザ」を学びと育ちの拠点とし、市内12箇所の生涯学習プラザをサテライトとして市民全体のシチズンシップの向上に取り組んでいます。また、生涯学習プラザには、地域とともに考え、行動する地域担当職員を配置し、地域の学びと活動を支援しています。

学びのプロジェクト「みんなの尼崎大学」の展開

「みんなが先生、みんなが生徒、どこでも教室」をモットーとした学びの場。市内全域をキャンパスに、市民の皆様が取り組まれている学びや活動のプラットフォームとなり、楽しみながら学習するプロジェクトを展開中。

トピックス

あまがさき・ひと咲きプラザ

あまがさき・ひと咲きプラザは、子どもから大人まで、市民の学びと育ちを支える拠点です。



ひと咲きタワー (写真中央)

プラザには「みんなの尼崎大学」事務局のほか、「尼崎市学びと育ち研究所」が設置されています。研究所では、科学的根拠(エビデンス)に基づく教育の先進研究等を進めています。



2019(令和元)年度で5回目を迎えた「みんなのサマーセミナー」では、2日間で300以上の授業を開講し、延べ約6,300人の方々に来場いただきました。

夜間中学校をご存知ですか??

成良中学校琴城分校は、様々な理由で義務教育を受けることができなかった方、不登校など、十分に学校で学ぶことができなかった方、本国において義務教育を修了していない外国籍の方を対象に、

夜間に授業を行う公立中学校です。公立の夜間中学校は兵庫県内で3校だけです。



成良中学校琴城分校の外観

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメント(能力強化)を図る

ターゲット№

39・40・41・42
・43・46・47

自治体は、女性や子ども等の弱者の人権を守ることができます。
また、行政や社会全体にジェンダー平等を広げることができます。

尼崎市の主な取組

多様性(ダイバーシティ)を認めあう社会の実現に向けた取組

性的マイノリティの方への社会的理解や性の多様性を尊重する取組を推進するため、申請書などの公文書の性別記載欄についてガイドラインを策定し、不要な記載欄を削除するなどの取組を行うとともに、令和2年1月からは、「パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。また、性的マイノリティなどの様々な悩みを抱える青少年にはユース交流センターで相談を受け付けています。

女性のエンパワーメントの推進

女性の活躍推進に向け、本市附属機関の女性委員の登用率や女性職員の管理職の比率の向上に取り組んでいます。女性センター・トレピエを中心として、誰もが性にとらわれず、自分らしくいきいきと充実した生活を送る男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進しています。

トピックス

「パートナーシップ宣誓制度」はじめました！

互いを人生のパートナーとして、日常生活において相互に協力し合うことを約束した一方又は双方が性的マイノリティである二人に対して、市がパートナーシップ宣誓書受領証の交付を行うものです。これにより、市民一人ひとりの人権と個性を尊重し、性的マイノリティの方への社会的理解や性の多様性を尊重する取組を推進するものです。
民間においては、パートナーシップ宣誓書受領証をもって利用可能となるサービスも広がりつつあります。



6 安全な水とトイレ
を世界中に



すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

ターゲット№

48・49・50・
51・53・55

自治体は、水道事業を実施し、住民に安全で清潔な水を届けることができます。
また、水源地の環境保全を通して、水質を良好にする取組ができます。

尼崎市の主な取組

安全安心な水道水の供給

尼崎市は、安全安心な水道水を高度浄水処理によりお届けしています。この水道水は、「水道GLP」の認定を受けた検査によって、全ての水質基準を満たしていることを確認しています。

上下水道施設の計画的な更新

安定して水道水をお届けし、確実に下水を集めるために、全国的に早くから上下水道事業を始めた尼崎市では、計画的な施設更新を行っています。

トピックス

GLPって??

GLP (Good Laboratory Practice) とは優良試験所規範の略。
医薬品や食品衛生の分野でいち早く導入されたもので検査機関による検査結果が正確であることを保証する仕組みです。

尼崎市は「水道GLP」の認定を受け、日々の水質検査を行っています。

施設更新の取組

配水池は、深夜は少なく朝夕に多いという水の需要に効率的に対応するため、水を一時的に貯留し配水量を調整する場所です。また、非常時の応急給水にも活用することから、耐久性・耐震性などが必要です。



神崎浄水場の耐震工事中の配水池 →



尼崎市に張りめぐらされた下水道管の長さは約1,069kmにも及びます。安心して公共下水道を利用していただくために、維持管理を行っています。

← 古くなった下水道管をよみがえらせる工事

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



すべての人に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

ターゲット№

56・57・58・59

自治体は、公共建築物への省/再エネの推進、住民の省/再エネ対策への支援などにより、持続可能エネルギーの利用を促進することができます。

尼崎市の主な取組

ごみ処理施設の廃棄物発電を活用したエネルギーの地産地消の取組

令和3年度から、ごみ処理施設であるクリーンセンターの廃棄物発電から発生する余剰電力の一部を小売電気事業者等を介し、CO2排出係数ゼロのクリーンな電力を市内事業者者に積極的に活用してもらうなど、脱炭素経営に向けた取組を支援します。

省エネ型建築物・設備の普及

脱炭素社会の実現に向け、エネルギーを創って蓄え、効率よく消費できる住宅を「尼崎版スマートハウス」と位置づけ、ZEHと合わせて導入支援を行っています。また、令和2年度からは、マンションや街区内でのエネルギー管理を推進するとともに環境配慮行動の促進や地域経済の活性化など、付加価値のあるまちづくりを進めます。

公共施設の屋根貸し事業

再生可能エネルギーの普及促進に向けて、公共施設の屋根に太陽光発電設備を設置する、いわゆる屋根貸し事業を実施しています。

再生可能エネルギーの導入促進

尼崎市では、市民や事業者の皆様が、太陽光発電設備を設置しようとする際のモデルとなり、設置の不安や疑問を解消することを目的として、尼崎市立クリーンセンター第1工場及び第2工場に太陽光発電設備を設置しています。

また、市が所有する公共施設の屋根を有償で貸し出し、そこに事業者が太陽光発電設備を設置し発電事業を行う、いわゆる屋根貸し事業を実施することにより、太陽光発電の普及を促進するとともに、災害時や計画停電時などの非常時における電源の確保を図ります。



↑屋根貸し事業により設置された太陽光発電設備

(左：武庫東生涯学習プラザ
右：尼崎市立尼崎高等学校)



クリーンセンター太陽光発電所 →

トピックス

8 働きがいも
経済成長も



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

ターゲット№

61・62・63・64・
65・66・67・68・69

自治体は、地域経済の活性化や雇用の創出に関与することができます。また、勤務環境の改善や制度整備を通じて労働者の待遇を改善することができます。

尼崎市の主な取組

公共調達基本条例に基づく適正な労働環境の確保

尼崎市公共調達基本条例を制定し、労働者の雇用の安定、労働に係る安全を含めた適正な労働環境の確保に努めています。

新たな産業都市モデルを目指した環境モデル都市の取組

経済成長とCO2排出量削減のデカップリングが可能となる新たな産業都市モデルの実現に向け、事業者、市民、行政が一丸となって取組を推進する尼崎市の提案が評価され、本市は平成25年に環境モデル都市に選定されました。今後はSDGsの視点も取り入れ、さらなる発展を目指します。

「あまがさきビジネスプランコンテスト」による創業支援

これから創業する方の新規性・独自性のあるビジネスプランを募集し、優れたアイデアを事業化までサポートするため、尼崎市、(公財)尼崎地域産業活性化機構、尼崎商工会議所、日本政策金融公庫、尼崎信用金庫の5機関で「あまがさきビジネスプランコンテスト」を実施し、将来の地域経済の発展につなげています。

トピックス

環境モデル都市

尼崎市は、平成25年3月に「環境モデル都市」として選定されました。

環境モデル都市は、全国で23都市選定されています。



環境モデル都市選定書授与式



尼崎創業支援オフィスアビーズ (ABiZ)

ABiZとは「AmagasakiでBiz(ビジネス)を始めませんか」という呼びかけ、並びに頭と末尾のAとZとで「出発」から「未来」へ向かうことを表しています。アビーズ(ABiZ)ではこれから創業を目指す方、新たに事業を始められた方などに対し、インキュベーションマネージャーが創業や事業に関する情報収集、知識の習得、異業種交流をお手伝いします。



ABiZの外観





強靱(レジリエント)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

ターゲット№

73・74・76
・77・79

自治体は、地域のインフラ整備に大きな役割を果たすことができます。また、地元企業への支援などを通じて、新たな産業やイノベーションの創出にも貢献することができます。

尼崎市の主な取組

ものづくりのまち尼崎

尼崎市は、以前は阪神工業地帯の中核を担う「ものづくりのまち」として発展してきました。現在も近畿高エネルギー加工技術研究所（AMPI）やものづくり支援センターと連携し、製造業の技術力並びに生産性向上を支援しています。

省エネ診断員登録制度と省エネ設備導入支援

事業者の皆様が身近な場所で省エネルギー対策等について相談できる機会を充実させるため、省エネ診断員登録制度を実施しています。産業用デマンド監視装置等導入支援事業と連携した取組となっており、診断員による診断並びに市内事業者による設置工事を要件とすることで環境と経済の共生に貢献しています。

トピックス

「あまがさきSDGsパートナー」を募集



SDGs達成に資する取組を行う企業や団体を、「あまがさきSDGsパートナー」として登録・周知し、市内のSDGs達成に向けた取組を推進しています。登録されると、SDGs達成に資する取組を行う企業や団体として、市が対外的な広報・PRを行います。

また、中小企業登録者の場合、「産業用デマンド監視装置等導入補助金」等において上乗せ支援が受けられます。

あましんグリーンプレミアム



尼崎信用金庫が主催する「あましんグリーンプレミアム」では、環境改善に対する地域の皆様の優れた技術や製品、取組やアイデアにスポットを当て表彰しています。

第9回目となる2019（令和元）年度には、選考委員会特別賞として「SDGs特別賞」が新たに選定されました。



第9回あましんグリーンプレミアム (SDGs特別賞)



国内および国家間の格差を是正する

ターゲット№

82・83・84

自治体は、少数意見を吸い上げながら、差別や偏見の解消を推進する上で主導的な役割を担うことができます。

尼崎市の主な取組

電話・テレビ通訳の導入など、多文化共生社会の推進

尼崎市に住む外国人の方や、これから尼崎市に住む予定の外国人の方の日常生活をサポートするため、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語の5か国語に対応した「あまがさきスタートガイド」を作成しています。

また、令和2年度から、電話・テレビ通訳の導入や外国籍住民の交流の場づくりを行うなど、多文化共生社会の推進に取り組めます。

出入国在留管理庁との連携強化

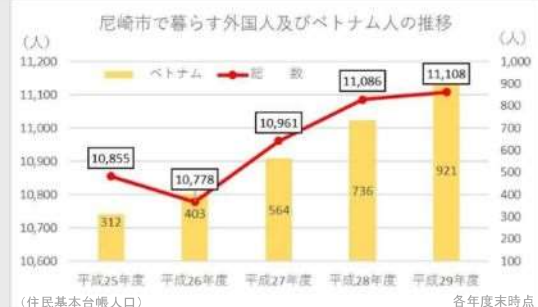
今後、増加が見込まれる外国人が本市において快適に生活ができるよう、法務省出入国在留管理庁との人的交流などにより連携を強化するなかで、多文化共生社会の実現に向けた取組を強化します。

トピックス

尼崎市で生活する外国人は何人??

尼崎市では、約11,000人の外国人の方が生活しておられますが、出入国管理及び難民認定法などの改正により、今後、本市の外国人人口は増加することが予想されます。

外国人の国籍の内訳をみると、韓国・朝鮮、中国、ベトナムの順に多く、近年、ベトナムの方の増加が顕著となっています。



11 住み続けられる
まちづくりを



都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱(レジリエント)かつ持続可能にする

ターゲット№

91・92・94・
95・96・97

自治体は、包括的で、安全かつ強靱で持続可能なまちづくりにおいて、大きな役割を果たすことができます。

尼崎市の主な取組

良好な住環境の整備等に向けた住宅マスタープランの改定

空家の利活用や適正な管理、管理不全空家への対策など、予防の観点も踏まえた総合的、計画的な空家対策を進めています。また、安心して住み続けられる住まい・まちの実現や持続性のある住宅ストックの形成に向け、「子育て」や「高齢期」・「既存住宅」といったテーマ別の施策の方向性等を示した住宅マスタープランの改定作業を進めています。

密集市街地の改善促進に向けた取組

住環境の向上だけでなく防災性からも課題が多い密集市街地の改善促進に向けて、隣地統合や建物除却への支援を行っています。

自転車のまちづくりの推進

平坦な地形やコンパクトな都市機能を有する地理的特性を踏まえ、自転車レーン等の整備、環境や健康面等におけるメリットを活かした自転車総合政策を進めています。

トピックス



尼崎市に空家は多いの??

住宅・土地統計調査によると、近隣市と比較し、尼崎市の空家率は高い傾向にあります。尼崎市では、総合的、計画的な空家対策を進めています。また、空家の現状や予防、有効活用についてなど、空家に関して知っておいてほしいことをまとめた「空き家の便利帳」を作成しています。



12 つくる責任
つかう責任



持続可能な消費と生産のパターンを確保する

ターゲット№

101・103・104・105・
106・107・108・110

自治体は、省エネや3Rの徹底など、市民対象の環境教育などを行うことでこの流れを加速させることができます。

尼崎市の主な取組

あまがさきエコプロダクツの認証による環境産業への支援

低炭素、省資源化、生態系の保全など、環境に配慮した製品を「あまがさきエコプロダクツ」として認証し、環境対策への意識啓発、地域産業の活性化につなげています。

尼崎市一般廃棄物処理基本計画の改定

一般廃棄物処理基本計画は、ごみの減量、リサイクルへの取組を定めた計画です。3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底などに向け、計画を改定しています。

NPO、市内事業者等と連携したフードドライブの推進

食品ロス削減に向けた意識啓発とともに、食べきれそうにない食品を持ち寄り、必要としている団体に寄付するフードドライブの取組も推進しています。

トピックス

フードドライブってなんだ??

尼崎市では、食べきれそうにない食品を持ち寄り、必要としている団体に寄付するフードドライブの取組をNPO法人、市内のスーパーマーケット等と連携し、推進しています。ぜひ、ご参加ください。



尼崎市内のフードドライブ実施店舗等

事業者名等	実施店舗名	
特定非営利活動法人あまがさき環境オープンカレッジ		
株式会社ダイエー	塚口店	
生活協同組合 コープこうべ	コープ園田	コープ塚口
	コープ武庫之荘	コープ尼崎名神
	コープ尼崎近松	コープ立花
	コープミニ西武庫	コープつかしん



気候変動とその影響に立ち向かうため、 緊急対策を取る

ターゲット№

112・113・114

自治体は、従来の温室効果ガス削減といった緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討を行うことができます。

尼崎市の主な取組

低炭素から脱炭素へ

温室効果ガスの排出を抑制するための緩和策に加え、気候変動の影響・被害を回避・軽減するための適応策の両面から地球温暖化対策に取り組みます。尼崎市地球温暖化対策推進計画では、2030年度の二酸化炭素排出量を2013年度比で28%以上削減するという目標を立て、取り組んでいます。

総合治水対策基本ガイドラインに基づく取組の推進

市域の約3分の1が海拔0メートル以下という特徴がある本市では、これまでの治水対策である「河川下水道対策」に加え、雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる「流域対策」、浸水した場合の被害を軽減する「減災対策」を効果的に組み合わせ実施する「総合治水」に取り組んでいます。

学校園における熱中症予防対策の推進

地球温暖化に加え、都市化の影響による猛暑日等の増加から、各学校における空調整備に加え、「熱中症予防運動指針」に基づき市立学校園における熱中症事故防止に取り組めます。

トピックス

兵庫県による津波防災インフラ整備

兵庫県では、南海トラフ地震による津波に備え、防潮堤の越流・沈下対策等を計画的・効率的に推進するため、「津波防災インフラ整備計画」を策定しています。

同計画において、尼崎地区は重点整備地区に指定されています。



防潮堤（尼崎港）

救急隊の増隊と「予防救急」の推進

気候変動による熱中症患者を含み、平成30年中の救急件数は過去最高の31,960件を記録しました。これら増加を続ける救急需要に迅速的確に対応できるよう、

令和3年度から救急隊1隊を増隊するとともに、熱中症を含む高齢者等の救急搬送につながる事故を予防するための取組として「予防救急」に関する講習会の開催をさらに推進します。



海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、 持続可能な形で利用する

ターゲット№

117・118

自治体は、海洋汚染の主な原因が陸上の活動に起因していることから、汚染対策を講じることができます。

尼崎市の主な取組

尼崎運河を活用した水質浄化の取組

自然と人と産業との良好な共生関係を目指し、兵庫県、地域住民、周辺企業などと尼崎運河再生プロジェクトを協働で進めています。

脱プラの推進

海洋マイクロプラスチックの問題は、世界的な課題であり、尼崎市も脱プラスチックに向けた取組を推進します。

尼崎市では、国のプラスチック製買物袋（レジ袋）の有料化に先駆け、職員のレジ袋辞退の取組を進めています。

大阪湾の水環境を守る下水処理

大阪湾の定められた環境保全目標の達成に向けて、通常の下水処理に加えて、窒素やリンを取り除き、より水質改善を図る高度処理設備を、東部浄化センターに引き続き、北部浄化センターにも導入します。

トピックス

尼崎運河の再生に向けて



尼崎の運河には、世界的にも高い水準のモノづくり産業が集積しています。

この特色を活かし、尼崎臨海地域の貴重な財産である運河や河川を核に、自然と人と産業との良好な共生関係による持続的発展が可能な“21世紀の環境先進都市”の創造を目指すことを目標とし、尼崎運河再生プロジェクトに取り組んでいます。

↓ 尼崎運河の水質浄化施設



↑ 運河での環境体験



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

ターゲット№

127・128・131
・134・135

自治体は、自然生態系の保護と土地利用計画は密接な関係があることから大きな役割を果たすことができます。また、国や周辺自治体、その他関係者と連携することで広域的な取組ができます。

尼崎市の主な取組

森林環境譲与税の活用による木育の推進

尼崎市では、公共建築物において兵庫県をはじめ国産木材の利用を促進しています。令和2年度からは、青少年に対して木の大切さやその利用の意義を啓発するため、森林環境譲与税を活用した木育を実施します。

尼崎21世紀の森づくりの推進

尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、人々の暮らしにゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりを目指して、兵庫県が「尼崎21世紀の森構想」を平成14年3月に策定しました。

現在も、尼崎市の臨海地域では、多様な主体により、100年がかりの森づくりのプロジェクトが進んでいます。

トピックス

「森の会議」

尼崎21世紀の森では、100年という壮大なプロジェクトの中で、ひとりひとりが主人公となって、「こんなことしたい!」「こんな場所が欲しい」などを持ち寄り、実現に向けて話し合う、みんなのための、みんなの会議「森の会議」が月に1回開催されています。



森の会議の様子



兵庫県県産木材の活用

本庁舎南館の2階には、耐震化のため鉄骨プレースを設置していますが、歩行者の安全確保等のため、兵庫県産のひのきを活用し、縦格子を設置しています。



兵庫県産ひのきを
活用した縦格子

16 平和と公正を
すべての人に



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

ターゲット№

139・140・141・142・
143・144・145・147・
148・150

自治体は、平和で公正な社会を作る上で大きな責務を負っています。地域内の多くの市民の参画を促して参加型の行政を推進し、また、暴力や犯罪を減らすのも自治体の役割です。

尼崎市の主な取組

子どもの人権擁護に向けた体制の強化

子どもの育ち支援条例の理念を踏まえ、令和2年度から、いじめの防止や体罰の根絶など、子どもの人権擁護に関する取組を強化するため新たに担当課を設置するとともに、有識者等による第三者委員会を立ち上げます。

いくしあと関係機関の連携による子どもの成長段階に応じた切れ目ない支援

いくしあ（子どもの育ち支援センター）では、児童虐待や不登校、発達障害など、課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、保健・福祉などの関係機関と連携しながら、切れ目なく、総合的かつ継続的な支援を行っています。特に児童虐待は、DVと密接な関係があることから配偶者暴力相談支援センター等との連携を強化し支援します。

公文書館機能を併せ持つ歴史博物館の開館

令和2年10月にオープンする歴史博物館では、博物館、埋蔵文化財センターだけでなく、公文書館としての機能を併せ持ち、過去、現在の営みを後世に伝え、未来における検証に備えます。

トピックス

尼崎市人権文化 いきづくまちづくり条例の制定

人権文化が社会に浸透し、本市に住み、本市で働き、集い、学び、活動するすべての人々が、互いに多様性を認め合い、つながりを持ち、支え合うことにより、暮らしやすいと実感できるまちを目指し、令和2年3月10日、尼崎市人権文化いきづくまちづくり条例を施行しました。今後は、この条例に基づき、人権教育及び人権啓発を推進します。

いくしあ（子どもの育ち支援センター）

2019（令和元）年10月1日、あまがさき・ひと咲きプラザにオープン。

いくしあでは、子どもや子育てに関して課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、様々な関係機関が連携しながら、切れ目なく継続的に支援を行っています。

また、プラザには、青少年の居場所・交流の場となる「アマブラリ」、「あまぼーと」も設置しています。



いくしあの外観



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

ターゲット№

164・165・166・167

自治体は、公的/民間セクター、市民、NGO/NPOなど多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進を担う中核的な存在です。

尼崎市の
主な取組

基金を活用したNPO法人への支援

NPO法人が行う公益的な事業に共感し、応援するために寄せられた寄付金を、NPO法人に交付する仕組みを構築し、地域の課題解決や魅力向上に向けた取組を促進します。

新たな市民提案制度と協働契約の導入による協働の推進

令和2年度から、「尼崎市提案型事業委託制度」と「尼崎市提案型協働事業制度」を一本化するとともに、提案支援の強化等の改善を加えた「尼崎市市民提案制度」や、事業者等との適切で良好なパートナーシップを築くことによって、協働の相乗効果がさらに発揮されるよう、協働契約を導入します。

トピックス

尼崎市自治のまちづくり条例

尼崎市では、事業者、行政等が協力し、より良いまちをつくっていくために、みんなが共有できるまちづくりのルールとして、市制100周年となる2016（平成28）年に「尼崎市自治のまちづくり条例」を制定しました。

自治のまちづくりの推進に向けて、各小学校区を担当する地域担当職員や地域の学びや活動の拠点となる市内12箇所の「生涯学習プラザ」の運営に加え、市職員が、自治のまちづくりに携わる者としての自覚と責任を持つといった意識改革等にも取り組んでいます。



↑中央北生涯学習プラザ

←尼崎市自治のまちづくり条例読本

さいごに・・・

SDGs は、“誰か” にとってではなく、“誰もが” 暮らしやすい未来に向かう目標です。

誰もが自分らしく暮らせる社会・・・。

一人ひとりが力を合わせれば、きっと未来は変えられます。

そんな未来の入り口は、
意外と近くにあるかもしれません。

まずは
「ジブンゴト」に



経済・社会・環境の好循環に向けて

尼崎市では、SDGsに資する市の事業への参加や、協力店舗での買い物・食事など、SDGsの目標達成につながる行動をされた方に、協力店舗や公共施設の利用、市内産品との交換、寄付などに活用できる「SDGs地域ポイント」を進呈する仕組みづくりを進めています。



SDGs
地域ポイント制度
がはじまるよ



総合計画×SDGs(総合計画の16施策と17の目標の関係)

総合計画の16施策		SDGsの17の目標
1	【地域コミュニティ】 みんなの支えあいで地域が元気なまち	4 質の高い教育をみんなに、16 平和と公正
2	【生涯学習】 生涯を通して学び、スポーツに親しめるまち	4 質の高い教育をみんなに
3	【学校教育】 教育の充実で子どもの生きる力をはぐくむまち	2 質の高いエネルギーをみんなに、4 質の高い教育をみんなに、13 気候変動に具体的な対策を
4	【子ども・子育て支援】 健やかに子どもが育ち、笑顔が輝くまち	1 平和と公正、2 質の高いエネルギーをみんなに、3 健康と福祉、4 質の高い教育をみんなに、5 性別平等、15 陸の豊かさを守り、16 平和と公正
5	【人権尊重・多文化共生】 互いの人権を尊重し、ともに生きるまち	4 質の高い教育をみんなに、5 性別平等、8 豊かさをみんなに実感、10 人や国ごとの格差をなくす、16 平和と公正
6	【地域福祉】 誰もが地域でその人らしく暮らせる福祉のまち	10 人や国ごとの格差をなくす
7	【高齢者支援】 高齢者が地域で安心して暮らせるまち	3 健康と福祉、10 人や国ごとの格差をなくす
8	【障害者支援】 障害のある人が地域で自立して暮らせるまち	4 質の高い教育をみんなに、8 豊かさをみんなに実感、10 人や国ごとの格差をなくす
9	【生活支援】 生活に課題を抱える人が安心して暮らせるまち	1 平和と公正、2 質の高いエネルギーをみんなに、10 人や国ごとの格差をなくす
10	【健康支援】 いきいきと健康に安心して暮らせるまち	2 質の高いエネルギーをみんなに、3 健康と福祉
11	【消防・防災】 消防・防災体制が充実した安全・安心のまち	1 平和と公正、11 住み続けられるまちづくりを、13 気候変動に具体的な対策を
12	【生活安全】 生活に身近な安全・安心を実感できるまち	3 健康と福祉、11 住み続けられるまちづくりを、16 平和と公正
13	【地域経済の活性化・雇用就労支援】 地域経済の発展により、活力があふれ、いきいきと働けるまち	2 質の高いエネルギーをみんなに、7 持続可能な消費と生産を実現、8 豊かさをみんなに実感、9 人や国ごとの格差をなくす、12 持続可能な消費と生産を実現
14	【魅力創造・発信】 歴史や文化を守り活かし、人をひきつける魅力があふれるまち	4 質の高い教育をみんなに、8 豊かさをみんなに実感、11 住み続けられるまちづくりを、16 平和と公正
15	【環境保全・創造】 環境と共生する持続可能なまち	6 安全な水とトイレを世界中に、7 持続可能なエネルギーをみんなに、8 豊かさをみんなに実感、9 人や国ごとの格差をなくす、11 住み続けられるまちづくりを、12 持続可能な消費と生産を実現、13 気候変動に具体的な対策を
16	【住環境・都市機能】 安全・安心、快適でくらしやすいまち	6 安全な水とトイレを世界中に、9 人や国ごとの格差をなくす、11 住み続けられるまちづくりを、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守り